

「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025」の概要について

1. 経過

前身となる「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2020」は、2016年(平成28年)9月に大山隠岐国立公園満喫プロジェクト地域協議会で策定され、2020年度(令和2年度)までの5年間、国立公園を訪れる訪日外国人観光客を増加させ、「世界水準のナショナルパーク」としてブランド化を図っていくための様々な取組をすすめてきました。

この間、日御碕・鷺浦エリアを中心とする島根半島西部地域についても、日御碕ビジターセンターの整備やアドバイザー派遣による体験プログラムの開発などに取り組み、観光誘客や環境整備で一定の成果をあげることができました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染が世界的規模で拡大し、全国の国立公園で誘客目標を達成することができなかったことから、2021年度(令和3年度)以降も引き続き本プログラムを継続し、訪日外国人旅行者だけでなく国内旅行者もターゲットに含め、2025年度(令和7年度)までの5年間を計画期間として取り組んでいくこととなりました。

2. 大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025の概要

(1) ブランディングテーマ

「神話と山岳信仰が息づく暮らしとともにある 山・島・海」

(2) 目標

- ①自然と文化を活かした上質な観光を提供し、大山隠岐国立公園ならではの魅力を極める。
- ②新型コロナウイルス感染症による影響前の水準まで国内外からの利用者を回復させる。

(3) ターゲット層

- 〈国内〉 近畿地方、中国地方、首都圏の在住者
〈国外〉 台湾、香港、中国、欧米豪諸国の在住者

(4) 取組方針

①自然と調和した「持続可能な観光」の実現

持続可能な観光（サステイナブル・ツーリズム）を進め、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献することを目指す。

②感動を与える体験の提供

地域資源を活かした四季折々の魅力を最大限に引き出した「今だけ」「ここだけ」の体験を利用者に提供していくとともに、サイクリングやロングトレイルを活用した広域観光周遊を促進する。

③多様な利用・需要に応じたサービスの提供

外国人をはじめ幅広い利用者層への対応、新型コロナウイルス感染症対策への対応、ワーケーションやグランピングなど新たな滞在・宿泊携帯への対応など、様々なニーズに応じたサービス提供を図り、社会情勢の変化に強い安定的な集客を目指す。

④安全・安心の確保と、利便性と景観の向上

施設整備による安全性の確保やユニバーサルデザイン化など、国立公園にふさわしい上質なまちなみの形成を図る。

⑤戦略的な誘客・プロモーションの実施

日本政府観光局（JNTO）や航空会社等、関係機関との連携しながら、誘客プロモーションを行うとともに、地域の魅力を住民に周知することで魅力的な観光地域づくりにつなげていく。

(5) 計画期間

2021年度（令和3年度）から2025年度（令和7年度）まで【5年間】

3. 島根半島西部地域におけるこれまでの取組と今後の展開

(1) これまでの取組

【主なハード事業】

- ▶日御碕ビジターセンターの整備（旧日御碕観光案内所の移転改築）
- ▶日御碕駐車場展望台整備、スロープ整備
- ▶トイレ整備
- ▶遊歩道、フットライト整備
- ▶日御碕園地（柏稜園）展望デッキ、東屋整備
- ▶多言語サイン整備
- ▶景観阻害木伐採 など。

【主なソフト事業】

- ▶アドバイザー派遣による体験型プログラムの造成
- ▶FAM トリップツアー（旅行会社等の招聘）の開催
- ▶商談会、セールスコールでの情報発信
- ▶超小型モビリティによる周遊観光プログラムの実証事業
- ▶日御碕地区利用拠点計画の策定、利用拠点滞在環境等上質化事業補助制度の創設など。

上記のほか、日本遺産「日が沈む聖地 出雲」、島根半島・宍道湖中海ジオパークと連携し、多言語 WEB サイト・YouTube 動画の制作・WEB 誘導広告の配信などのデジタルマーケティングや、出雲神楽定期公演、島根半島四十二浦巡りなども実施した。

(2) 島根半島西部地域における今後の取組方針

日御碕・鷺浦を重点地区に位置づけ、優先的な取組として次に掲げる事業を展開していく。また、日本遺産「日が沈む聖地 出雲」、島根半島・宍道湖中海ジオパークとの事業連携や国・県・DMO との広域連携については継続して取り組み、魅力ある周遊ルートを構築していく。

①自然・文化体験ツアー、プログラムの充実化

これまでの取組により企画検討してきたさまざまな体験プログラムをさらにブラッシュアップし、自然景観を楽しみながら歴史・文化に触れることができる公演やツアーを造成し、実施していく。

- ▶トレッキング、シーカヤックなどのアウトドアアクティビティの実施
- ▶出雲の歴史や文化、日本遺産の夕日やジオパークの自然を融合させたプログラムの実施
- ▶日御碕神社の出雲神楽定期公演、ナイトシアター、夕日ガイドなど夕方や夜、早朝の時間帯に参加できるプログラムを実施し、宿泊につなげるプログラムを実施

②まちなみ景観の改善

一体感のあるまちなみ景観醸成のため、店舗や宿泊施設の修景を推進していく。

- ▶利用拠点滞在環境等上質化事業補助制度により、民間事業者が行う外観修景、インバウンド対応、廃屋撤去、リノベーション等を支援

③ワーケーションツーリズムの推進

自然資源や歴史資源を活かしたワーケーションツアーコンテンツの造成や受入環境を整備

- ▶コワーキングスペースやWi-Fi 環境等、利用者の利便性向上につながる整備